

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
必修	2 単位	基礎演習Ⅱ	山口 憲二	1 年次	秋

授業のキーワード	人生、仕事、絵を描くということ
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	春学期（基礎演習Ⅰ）に続き、大学生に必要な基本スキルを修得するべく、トレーニングを行います。
履修のアドバイス・ 前提科目等	毎回全員が発言することを求める。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	第 3 章 何を描くか1	モチーフとは 自分を飽きさせない	第 9 講	第 4 章 何で描くか4	描けない一年間アトリエに通い続けた 自然の中に答えがある
第 2 講	第 3 章 何を描くか2	画家の目つき 心の地図	第 10 講	第 5 章 何に描くか1	日本画の素材に釘付けになる自分に合う技法に出会う
第 3 講	第 3 章 何を描くか3	探していた風景に出会うための取材 自分の画風に近い古典に学ぶ	第 11 講	第 5 章 何に描くか2	自分流の技法 素材が語りかける
第 4 講	第 3 章 何を描くか4	私のモチーフ「フラットウォーター」との出会い	第 12 講	第 5 章 何に描くか3	日本画は国境を超える ジャパンオリジナルの発見
第 5 講	第 3 章 何を描くか5	「滝」に出会う 何でも自由に描ける境地	第 13 講	第 5 章 何に描くか4	表現と技法の一致 描くことの楽しみ
第 6 講	第 4 章 何で描くか1	筆一本で勝負する 道具の幅でしかものが見えない	第 14 講	第 5 章 何に描くか5	日本画のエネルギー 墨の魅力
第 7 講	第 4 章 何で描くか2	鉛筆の可能性 デッサンのテクニクを身につける	第 15 講	まとめとレポート発表	テキストから、絵を描くことと人生や仕事との関係性について
第 8 講	第 4 章 何で描くか3	自分の無意識まで形を覚え込ませるデッサン 描けなくてもアトリエにいる	評 価 方 法		毎時間の発言、ゼミノート、最終レポート
備 考 (関連する資格・試験等)					
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
基礎演習Ⅰ と同じ なお、適宜資料を配布する。					